

第86回国際協同組合デー  
地産地消いわて協同組合協議会 設立4周年講演会

# 激変する世界の食料事情と協同組合の使命

— ICAレイドロー報告と協同組合のアイデンティティ —

2008年 7月3日(木) 13:30~15:30

ところ 岩手県産業会館(サンビル) 7階 大ホール

(盛岡市大通1-2-1 TEL019-626-8152)

今日、世界の食料事情はこれまでとまったく異質な状況に陥っています。自給率39%のもとで進む日本の食料輸入は、世界の貧しい国の貧しい人々の食べ物を奪い、食料暴動や栄養失調・飢餓・餓死という犠牲の上に成り立っていることが明らかに。一方、日本の農業・農村の衰退は危機的様相を見せ、食の安全・安心も大きく揺らいでいます。

1980年、こうした状況を洞察したICA(国際協同組合同盟)はレイドロー博士(カナダ)の「2000年における協同組合」の中で、「世界の飢えを満たすこと」を世界の協同組合の第一優先課題と決議しました。

しかし、今日の世界の食料事情を見ると、私たち協同組合運動に携わるすべての人々が、もう一度、協同組合のアイデンティティ(存在意義)・ミッション(使命)を再発見することが求められているのではないのでしょうか。

みんなで進めている地産地消運動も、こうした世界的な視野でその意義をさらに深めて、大きな広がりを実に推進しましょう。



《講師》 村田 武 先生

1942年 福岡県生まれ。  
京都大学経済学部卒業、京都大学大学院経済学研究科博士課程中退、大阪外国語大学(ドイツ語学科)助手、講師、助教授を経て、金沢大学経済学部助教授、教授。

1998年 九州大学農学部教授

2005年 愛媛大学農学部教授

2008年 愛媛大学社会連携推進機構特命教授

主な著書に

『世界貿易と農業政策』 ミネルヴァ書房

『消費者運動のめざす食と農』 農文協

『WTOと世界農業』 筑波書房ブックレット

岩手県下の各種協同組合で頑張っている組合員・役職員のみなさんが、今日の協同組合運動の素晴らしさと役割を再確認できるうってつけの講師をお招きすることができました。ご期待の上、多数のご参加をお待ちしています!

主催 岩手県協同組合間提携協議会 事務局:JA岩手県中央会  
地産地消運動を促進する岩手県協同組合協議会  
(地産地消いわて協同組合協議会)  
事務局:JA岩手県中央会・岩手県生協連

参加お申し込み・お問合せ 岩手県生活協同組合連合会

TEL019-684-2225 FAX019-684-2227